

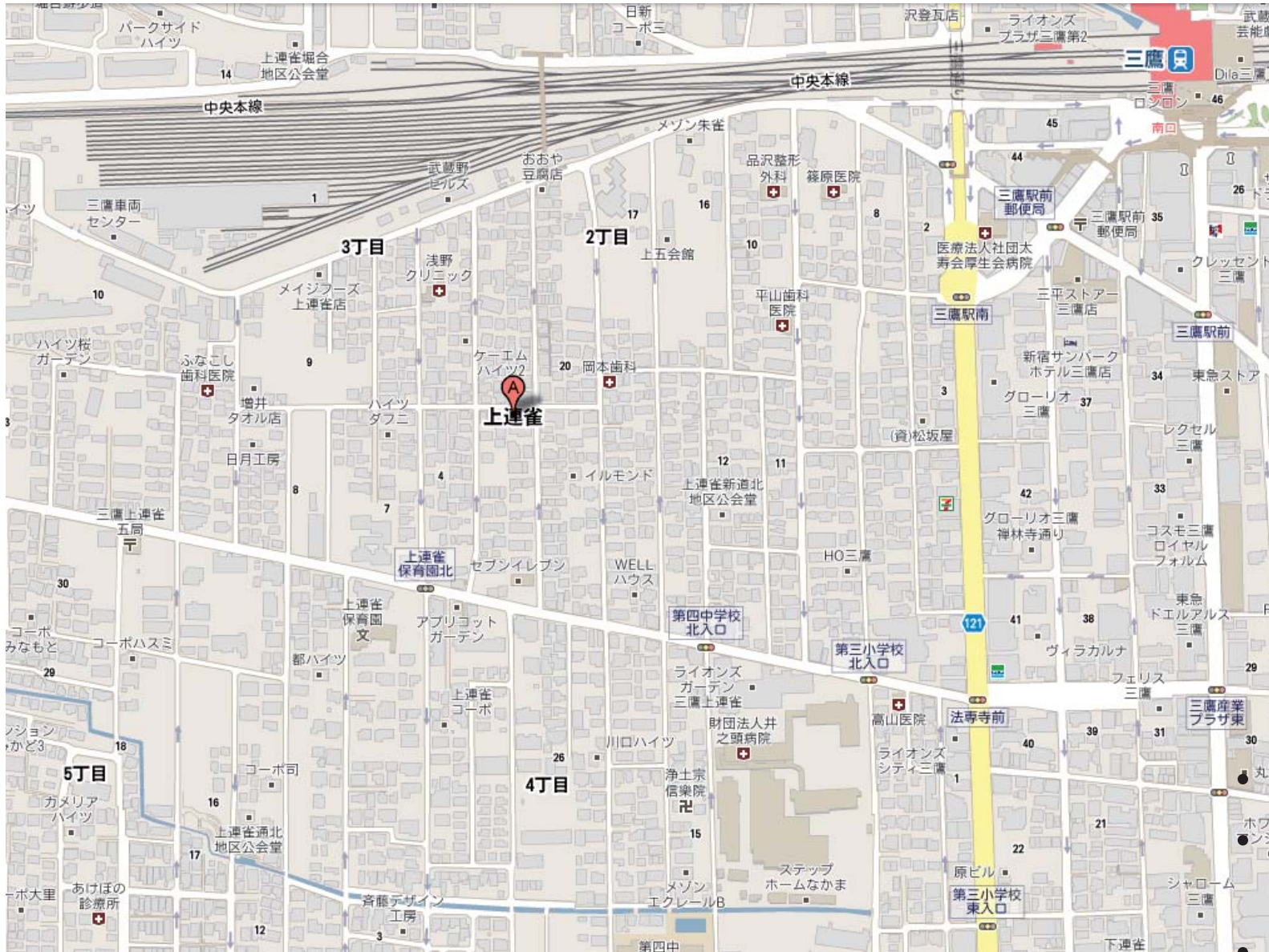


Shared Space概念について

小場瀬 令二

1 三鷹 コミュニティゾーン

1.1



日本においては、
1996～ コミュニティ・ゾーン形成事業
2003～ 暮らしのみちゾーン事業

EUで広まるSharedSpace施策

- SharedSpaceは、行政と住民、専門家との協働により、魅力ある公共空間の再構築を行う空間改良策のことである

SharedSpace手法の特徴

- 利用者に対する心理的側面に着目
- これまで常識であった信号、標識などの設置を不要としている
- 統一したデザインガイドや、規制手法が存在しない

SharedSpace手法の効果

- 交通事故の減少
- 良好な公共空間の形成



SharedSpaceは、これまで車中心の交通空間であった公共空間を
人中心の生活空間として再定義する空間改良施策である

1. EU事例からみるShared Spaceの特徴

空間理念

- 信号や標識があるために自動車が歩行者を軽視し、危険だという認識
- まちに賑わいをもたらすデザインが空間の魅力を引き出す



徹底した問題共有

- 事業策定の初期段階から住民が参加し、専門家とともに立案する
- プロジェクト実行までの協働作業の内容が、計画案に大きく影響
- 場所毎に整備内容が異なるため、構造的な基準はない



1 背景



- SharedSpace概念において、公共空間は用途に応じて3種類に分類される
 - コミュニケーション中心の「生活空間」
 - 多様な行動が含まれる「社会的交通空間」
 - 交通ルールによって規制される「交通空間」
- 
- 曖昧な「社会的交通空間」においては、その地区に求められている空間利用を判断し、ケースバイケースの空間整備が求められる

表1 SharedSpaceにおける公共空間の分類

	生活空間	社会的交通空間	交通空間
行動の特徴	多種多様	多様	均一
移動の様態	目的地が不定	目的地は大まかに決まっている	目的地は厳密に決まっている
適正速度	<30km/h	<50km/h	>50km/h
行動の予測可能性	だいたい予測不可能	限定的に予測可能	だいたい予測可能
アイコンタクト	頻繁	限定的	最小限
行動の決定要素	社会的な環境と物的環境	社会的な環境と物的環境+基本的な交通ルール	コントロールシステム—交通工学と法体系(道路標識・道路標示)
ほかの道路利用者に期待する行動	社会的行動	法的・技術的強制を伴った社会的行動	技術的・規則的な交通行動
行動に関する空間の配置	人工的・物理的な環境の状態	人工環境、公共空間のデザイン、道路設計および環境相互間の参照	信号、交通標識、道路照明、ランプ、交通警察官の誘導

(sharedspace:room for everyoneより)



SharedSpaceは、統一したデザインガイドや規制手法が存在しない
また、自動車中心ではなく、地域の中心としての空間整備を目的としている

Shared Spaceとは？



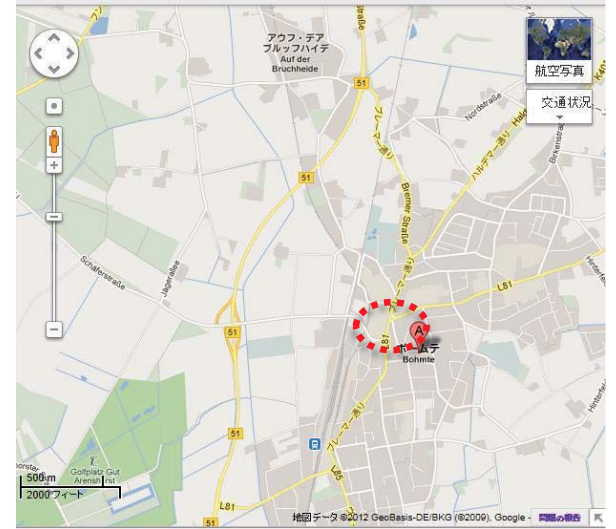
- Hans Mondermanによって提唱された交通静穏化施策の1つ
- 既存の交通空間の信号や標識を撤去し、歩車共存の空間として再構成している⇒利害関係者との話し合い
- 1980年代からEU各国で実践されている
- INTERREGのパイロットプロジェクト'Shared Space'(2004~2008)が、5カ国7地域で実施された

1. Shared Spaceとは？



- Hans Mondermanによって提唱された交通静穏化施策の1つ
- 既存の交通空間の信号や標識を撤去し、歩車共存の空間として再構成している
- 1980年代からEU各国で実践されている
- INTERREGのパイロットプロジェクト'Shared Space' (2004~2008)が、5カ国7地域で実施された

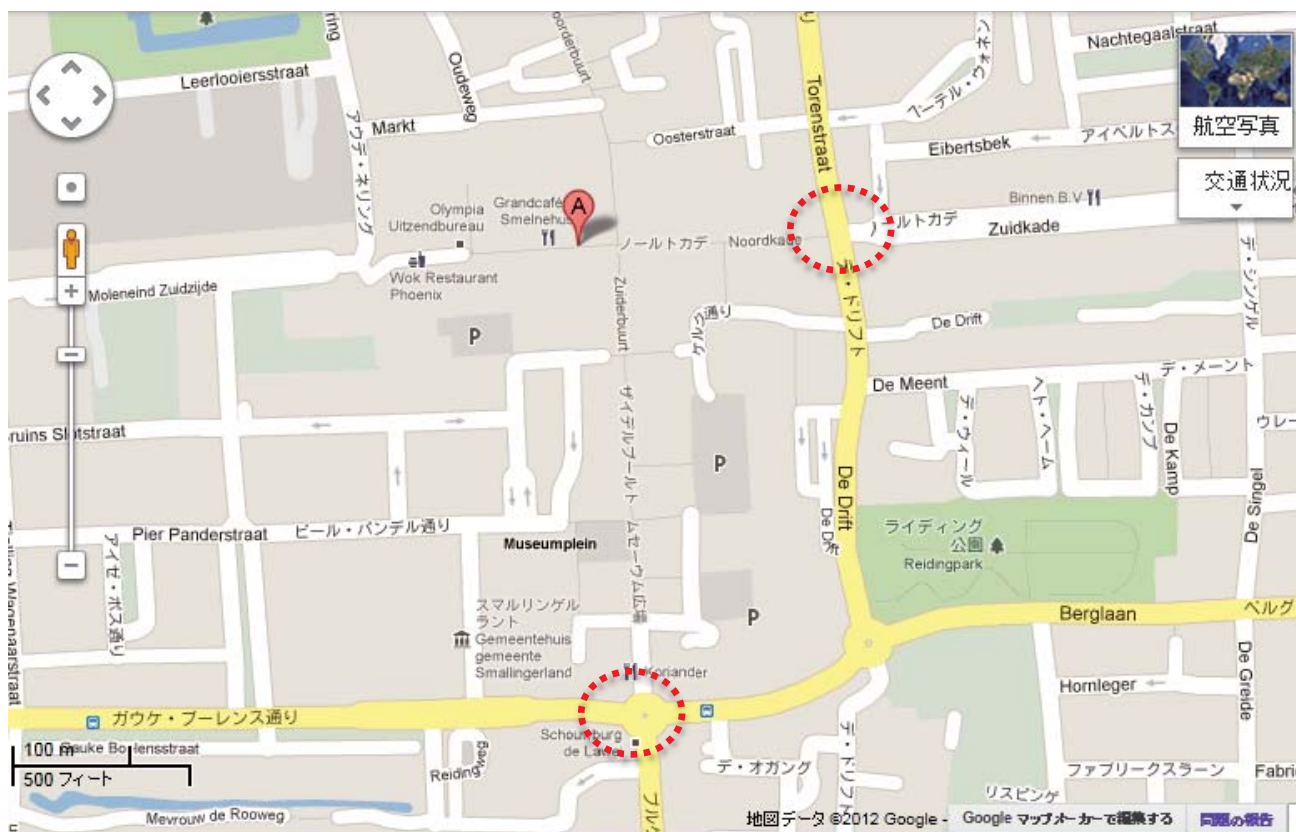
Bohmte (ドイツ)



1万4000
人弱、中
心街は1
日当たり
車両1万
3500台の
交通量



Drachten オランダ



人口約60,000人のニュータウン

Laweiplein交差

1日当たり約20,000台が通過

公共広場についての印象を与える
交通標識あるいは交通信号を撤去
十分な事故調査報告書は公表されて
いませんが、公からの一般反応
は肯定的に見えます。

地方公務員および傷害率が著しく
改善されたという公のクレームの
両方以外に公式データはありません

Drachten オランダ



ローカルバスは、Laweipleinで53秒の平均待機時間を持っていました。
改造以来、それは時間待つ、26~38秒に減少。
自動車については、平均待機時間は50秒から30秒に減少。